

『足裏がすり減るまで走れ』

—— 故・太倫基弁護士の懲戒処分の真相 ——』

テユンギ 太倫基 著 在日韓国良心囚同友会 翻訳

故・太倫基^{テユンギ}弁護士は、韓国独裁政権下の重要な事件の弁護に活躍されました。特に1970・80年代の在日韓国人の「スパイ事件」に、臆することなく弁護の手を差し伸べて下さいました。徐勝兄弟、具末謨、林清浩、姜鎬振、金喆佑兄弟、崔昌一、高秉澤、(太刀川、早川)、李智永、李士永、崔哲教、伊東玄太郎、陳斗鉉、白玉光、金鍾太、姜宇奎、孫裕炯、金泰洪氏など多くの事件に携わって来られました。

そうした時局事件を受け持った太倫基^{テユンギ}弁護士に資格剥奪の報復として、1983年に韓国法務部の懲戒委員会で除名処分を受け、この不当な懲戒処分は撤回されることなく現在に至っています。

『足裏がすり減るまで走れ』は、故・太倫基^{テユンギ}弁護士が書かれた「林光文集」の中から、懲戒処分に抗した闘いに関する記述部分を翻訳して、一冊にまとめたものです。当時、交流のあった日本の川勝勝則^{カワカミ}弁護士の論文（日本弁護士連合会・会報1978年1月号）も巻末に参考資料として納めました。

現在、故・太倫基^{テユンギ}さんの家族とともに、「真実和解のための過去事整理委員会」に真相究明を申請中で、訴訟を起こすべく準備を進めているところです。



まえがき 李哲・在日韓国良心囚同友会 代表
第一章 『足裏がすり減るまで走れ』太倫基 著
序 文
私にも言う権利がある
第二章（資料）太倫基^{テユンギ}弁護士が関与した重要刑事事件と
資格剥奪という政権による「報復」
著者が関与した重要刑事事件
時局事件受け持った太倫基^{テユンギ}弁護士に資格剥奪「報復」
(韓洪九教授 聖公会大・韓国史)
第三章（資料）韓国の人権弾圧法体制と人権擁護のために
闘った弁護士たち（東京弁護士会 川勝 勝則）
あとがき 山田隆嗣・孫裕炯氏を支援する会

2023年11月26日 発行 A5版 並製本 156頁（予定）
出版協力金 1,000円（送料含む）
発行 在日韓国良心囚同友会

■ 郵便振替口座

振替口座：00910-8-70544
加入者名：在日韓国良心囚同友会

■ 問合せ先 (Mail)

在日韓国良心囚同友会 / 孫裕炯氏を支援する会
korea@e-sora.net tkkym5yamada@yahoo.co.jp